

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	生活文化部
	17038	「関の山車」会館整備事業		課名	文化スポーツ課 まちなみ文化財G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目目	01:一般会計
	基本施策	09:歴史的風致を生かしたまちづくりの推進			10:教育費
	施策の方向	02:関宿伝統的建造物群保存地区の保護の推進			05:社会教育費
戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト		08:町並み保存費		
事業予定期間	H 28 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等		文化財保護法、歴史まちづくり法、三重県文化財保護条例、同規則、亀山市文化財保護条例、同規則	

② 目的・概要	対象	保存地区住民・関宿来訪者
	目的	「関の山車」を保存・展示するとともに、祭囃子等の伝承活動の拠点として「関の山車」会館を整備し、その保存を図る。あわせて、関宿見学の拠点施設として、見学者との交流により、関宿の新たな魅力づくりと地域振興を図る。
概要	「関の山車」会館の整備のため、用地公有化、施設配置設計、建造物実施設計、伝統的建造物の保存修理、地域交流施設等の新築、展示に関する設計及び制作工事、外構工事等を行う。また、開館後の管理・運営を見据えて、保存会等の活動団体の支援を行う。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財発掘調査 ○主屋修理 <ul style="list-style-type: none"> ・設計監理業務 ・修理工事 ○離れ・土蔵修理 <ul style="list-style-type: none"> ・修理工事 ・監理業務 ○収蔵展示館(第1期)工事 <ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 ・監理業務 ○展示工事 <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務 ○管理体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵展示館(第2期)工事 <ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 ・監理業務 ○展示工事 ○外構工事 ○管理体制の決定 		
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○新築実施設計業務(H28繰越) ○埋蔵文化財発掘調査 ○離れ・土蔵修理 ○展示工事 ○主屋修理(部分) ○収蔵展示館(第1期)工事(部分) 			
事業費	計画額	事業費	125,000千円	100,700千円	
		国庫支出金	61,000千円	40,310千円	
		県支出金	3,200千円		
		地方債	51,500千円	57,300千円	
		その他			
	予算額	事業費	123,064千円	104,024千円	
		国庫支出金	60,657千円	47,163千円	
		県支出金	2,352千円	1,005千円	
		地方債	51,000千円	37,800千円	
		その他			
決算額	事業費 ①	61,590千円			
	国庫支出金	28,359千円			
	県支出金	935千円			
	地方債	16,200千円			
	その他				
人件費	一般財源	16,096千円	0千円	0千円	
	総人件費 ②	7,679千円			
	一般職員	7,679千円			
	所要人員	1.00			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		69,269千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称 「関の山車」会館整備工事 進捗率 実施済み事業費／総事業費	活動	計画値	69	100
				実績値	41	
				単位	%	%
	②	名称		計画値		
				実績値		
				単位		
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 ・関の山車会館を開館させることにより、来訪者を関町の東部分まで誘導することが可能となる。また、将来的には地域の方々により主体的に運営に参画していただけるよう促していく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 地域の諸団体に対し、山車会館の展示内容等について協議を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 ※H28→29繰越事業費、H29→30繰越事業費、H28→29の年度間調整額があるため、H29決算額での実際の一般財源は8347千円。 離れ、土蔵の修理については予定どおり完了した。 管理展示棟改修工事については、設計監理者の事業継承に時間を要したことから年度内完成が見込めず、30年度に繰越となった。また地域交流施設新築工事等においても入札不調による設計見直しなどに時間を要したことから年度内完成が見込めず、30年度に繰越となった。	C あまり実施できなかった
	成果	【成果は順調に上がったか】 離れ、土蔵については予定通り完了し、お囃子の伝承活動を実施することができた。 一方で管理展示棟改修工事、地域交流施設新築工事については、工程が遅れており、開館時期に影響しないよう30年度に配慮する必要がある。	C あまり成果を得られなかった

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 管理展示棟改修工事、地域交流施設新築工事については工程が遅れており、開館時期に支障がないよう、30年度には複数事業を同時に走らせる必要がある。綿密な工程管理が必要。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 各工事に対し、週間の工程会議を実施し、不測の事態に備えて管理を行うとともに、各工事間の調整を適切に行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 当初予定どおりの開館を行い、地区の活性化に寄与する。	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 まちなみ文化財グループリーダー 稲垣 智也
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小林 恵太